

学びの領域 幅広い分野を学び、知識・情報・技能を修得。

「人文地理学」

人口や経済、産業、文化、都市、交通、観光、まちづくり等、地域の構成要素から人間活動と地域との関わりを学びます。

- # 人口 # 経済・社会 # 都市・農村 # 産業 # 交通
- # 観光 # 景観 # 歴史・文化 # 地域資源 # 地域振興

「自然地理学」

地形や気候、水、植生等、地球上のあらゆる自然現象をとおして、地域の自然の成り立ちを学びます。

- # 地形 # 気候 # 水 # 植生 # 自然災害 # 防災
- # ハザードマップ # 環境保全 # エコツアーリズム

「地誌学」

日本と海外のさまざまな地域を対象に、特定地域における自然と人びとの活動の関係を総合的に考え、地域的特色を学びます。

- # 日本 # アジア # ヨーロッパ # アフリカ # 南北アメリカ
- # オセアニア # 地域研究 # フィールドワーク # 地域性

「地図・GIS・測量」

地図の仕組みや地図表現の基本、測量技法、現地調査で取得したデータを地理情報システム（GIS）で地図化する方法を学びます。

- # 地理的技能 # 地図の読図 # 測量技術 # 空中写真判読
- # 地理情報システム # 地域データ # ドローン

学びの流れ フィールドワークを重視し、実践的に学ぶ。

卒業基準単位数: 126

教養的科目: ≥28

専門科目: ≥78

※2026年4月1日入学者の場合。
※教養的科目および専門科目の必要単位数を超過以上を得得し、卒業基準単位数を充足します。

	1 地理学と地図の基礎を修得 年次	2 地理学の専門領域を学ぶ 年次	3 専門性、応用力を向上させる 年次	4 卒業研究に全ての学びを集約 年次
必修科目	<ul style="list-style-type: none"> 「地理学では何を学ぶのか」等、多彩な講義と実習から学修の意味と意義を考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 地理学のさまざまな専門分野の基礎を学び、フィールドワークで地域調査を行うためのスキルを身につけます。 	<ul style="list-style-type: none"> 応用的な地理学を学修し、地理学を軸にセミナーを通して議論・発表をする力を身につけます。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の課題を解決するために、地域調査やデータ分析をとおした分析力や高い研究成果について議論します。
必修科目	<ul style="list-style-type: none"> 〈学科基幹科目〉 ※基礎地図学および実習Ⅰ ※基礎地図学および実習Ⅱ フィールドワーク入門 	<ul style="list-style-type: none"> 〈学科基幹科目〉 地理学基礎セミナー 	<ul style="list-style-type: none"> 〈学科基幹科目〉 地理学セミナーⅠ 地理学セミナーⅡ 	<ul style="list-style-type: none"> 〈学科基幹科目〉 地理学セミナーⅢ 地理学セミナーⅣ
選択必修科目	<ul style="list-style-type: none"> 〈学科専門基礎科目〉 デジタル地図の基礎 人文地理学概論* 自然地理学概論* 日本地誌* 先進国の地誌* 途上国の地誌* 	<ul style="list-style-type: none"> 〈学科専門基礎科目〉 自然地理学調査法 統計調査・分析 	<ul style="list-style-type: none"> 〈学科専門基礎科目〉 卒業研究 (卒業論文研究 or 卒業課題研究) 	
選択必修科目	<ul style="list-style-type: none"> 〈学部共通科目〉 身近な環境と人間生活 都市のアメニティ マッピング 地図と測量の科学 ジオインフォマティクス 測量学 自然災害のメカニズム 地球環境システム論 環境とグローバル環境力バランス 人間活動と環境変化(生物生産と生物圏の物質循環) 人間活動と環境変化(大気の大気循環) 乾燥地の環境 生物圏の保全 ローカル環境力バランス 地域・環境フィールド実習 			
選択必修科目	<ul style="list-style-type: none"> 〈学部共通科目〉 地形学 気候学 水の科学 自然環境とエコツアーリズム 地理情報システムの基礎 測量学および実習 測量学実地実習 海外自然環境フィールドワーク ドローン講義 ドローン実習 			
選択必修科目	<ul style="list-style-type: none"> (一般教育科目)(地理系科目) 地理学概論 地誌学概論 日本史概論 外国史概論 			
選択必修科目	<ul style="list-style-type: none"> 〈学科基幹科目〉 フィールドワークⅠ フィールドワークⅡ 			
選択必修科目	<ul style="list-style-type: none"> 〈学科専門発展科目〉 経路地理学 社会地理学 都市地理学 交通地理学 観光地理学* 歴史地理学 文化地理学 地域づくり論* 地域研究1* 地域研究2* 海外地域研究1* 海外地域研究2* 自然計画実習 災害・防災地図の作成と利用 地図コメンタリー実習 写真判読法および実習 地図表現と地図作成 地理情報システム論および実習* 地理情報システムの応用および実習 海外フィールドワーク2* 			
選択必修科目	<ul style="list-style-type: none"> 〈学科専門発展科目〉 ※教職用科目 社会科・地理歴史教育論Ⅰ 社会科・地理歴史教育論Ⅱ 社会科教育論Ⅰ 社会科教育論Ⅱ 			

*は環境システム学科との相互履修科目。 ※学部間相互履修制度がある学部もあります。詳細は各学部へお問い合わせください。 ※カリキュラムは変更される場合があります。

授業

Focus on

基礎地図学および実習Ⅰ・Ⅱ

講義と実習によって、地図の読み方や分布図の描き方等を学びます。地図の概念を理解し、地域特性を読み解く能力を高めます。

自然計測実習

自然地理学に関するデータを取得するための観察・分析・実験等の手法を、キャンパスおよび野外での実習の経験から修得します。

観光地理学

観光現象を理解し、観光地としての発展過程や地域への影響度などを学び、観光地を地理的・空間的な視点から分析する手法を修得します。

■時間割モデル(3年次第2期)

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1		特別実習システムの活用および実習				
2	地理学				地域研究Ⅲ	
3	東洋・南アジアの形成と発展			高度の自然部		
4	地理学セミナーⅠ			歴史地理学	地域資源の保全と還元	
5						

※2025年度カリキュラムの場合。

■卒業論文テーマ

- JR川口駅周辺における高層マンションの立地特性
- 武蔵浦和駅周辺地区の再開発事業における土地利用変化と空間利用特性
- 熊谷市南東部荒川右岸における水屋・水塚の分布と利用状況
- 埼玉県東松山市東平地区における梨を活用した観光農業の取り組みと課題
- 横浜南区横浜橋通商店街におけるエスニック・ビジネスの実態
- 青森県八戸市における湧水特性と災害時における水資源としての有用性
- 養老川白尾の川廻しにおける人工短絡河川地形の土地利用展開
- 千葉県における藤校利用の地域的特徴と地域活性化の可能性
- 富山県富山市・射水市羽須賀栽培地域における直売を通じた農家の経営戦略とその変容 (ほか)

進路・就職 土地の文化や自然を探究し、地域・社会の未来に貢献。

多角的かつ総合的な調査・分析力を、地域の持続的発展に生かせる人材を育てます。

学科で身につく力

- 1 総合的な調査・分析力
情報技術の活用能力
- 2 フィールドワークで培う
観察眼、行動力、課題発見能力、問題解決能力
- 3 資格を取得し
専門職をめざすための知識・スキル

■資格・免許

詳しくはP.130へ

- 【旅行専門職】
 - 総合旅行業務取扱管理者* (任用資格)
 - 国内旅行業務取扱管理者*
 - 国内旅程管理士主任者*
- 【不動産・測量専門職】
 - 測量士補
 - 測量士*
 - 技術士補
 - 技術士*
 - 土地家屋調査士*
 - 不動産鑑定士*
 - 二等無人航空機操縦士*
- 【教員免許】
 - 中学校教諭一種免許状(社会)
 - 高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
- 学校図書館司書教諭
- 社会教育主事(任用資格)
- 社会福祉主事(任用資格)
- 【その他】
 - 博物館学芸員(任用資格)
 - 地域調査士(認定資格)
 - GIS学術士(認定資格)
 - 情報処理技術者*
 - 観光英語検定*
 - 観光英語検定*
 - 旅行英語検定*

合格・取得サポート講座

- 情報処理技術者 ●技術士 ●技術士補 ●気象予報士 ●公費防止管理者 ●測量士 ●測量士補 ●土地家屋調査士 ●不動産鑑定士 ●国内旅行業務取扱管理者 ●総合旅行業務取扱管理者 ●地図地理検定 ●TOEIC TEST ●国内旅程管理士主任者(ツアーコンダクター)
- [対応講座] 気象予報士講座 / 国内旅程管理士主任者(ツアーコンダクター) 講座 / 国内・総合旅行業務取扱管理者講座 / 教職支援講座
- [関連科目] 基礎英語 / 実践英語

*は資格・検定試験に合格する
必要があります。

GIS学術士(認定資格)

地理学をベースとし、地理情報システムの知識や技術をj用いて、地域分析および解j行を行える人材であることを認定する資格です。

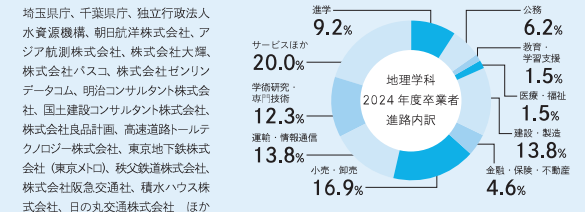
地域調査士(認定資格)

地域調査の知識や技能を用いて、地域のj間課題を俯瞰的に捉えられる調査能力を身につけた人材であることを認定する資格です。

■進路・将来像

- 地図制作・測量関連企業
- 都市・不動産・コンサルタント関連企業
- 鉄道・運輸・流通関連企業
- 旅行・観光関連企業
- 各都道府県市区町村役場
- 中学校社会科教諭
- 高等学校地理歴史科教諭
- 大学院進学 等

■主な進路



Topics

学びで課題を解決 「地域貢献プロジェクト」

学びを地域連携や地域貢献に生かす取り組みをとおして、企画立案力や発信力、達成する力等、実践力を飛躍的に伸ばします。これまでに、熊谷や日光の地域活性化や、ネパール地震で被災した学校に世界地図を贈るといった活動を行っています。

